



中央区

こ に ち は

Nice Town
Good People

町会です 39 号

私たちが暮らす中央区は、定住人口が順調に増え続け、まちはにぎわいと活気にあふれています。170 を超える町会・自治会があり、祭りや町内の清掃、住人同士の親睦を深めるイベントの開催など、住みよい地域社会をつくるための活動は様々。「こんにちは町会です」は、そんな町会・自治会の活動を担う方々のまちへの思いをお伝えします。

今回ご紹介する町会・自治会

- 【京橋地域】銀座一丁目東町会……………2P
- 【日本橋地域】東日本橋二丁目町会……………3P
- 【月島地域(晴海地区を除く)】佃一丁目町会……………4P
- 【月島地域(晴海地区)】HARUMI FLAG自治会……………4P

銀座一丁目東町会



佃一丁目町会



東日本橋二丁目町会

「こんにちは町会です」の
バックナンバーはこちら▶



町会・自治会

についてのお問合せは…

- | | | |
|-----------------|----------|------------------|
| ■京橋地域…………… | 区民部地域振興課 | TEL：03-3546-5336 |
| ■日本橋地域…………… | 日本橋特別出張所 | TEL：03-3666-4251 |
| ■月島地域(晴海地区を除く)… | 月島特別出張所 | TEL：03-3531-1151 |
| ■月島地域(晴海地区)… | 晴海特別出張所 | TEL：03-3520-8096 |

イベントを通じて絆を育む町会の工夫と挑戦

銀座一丁目東町会 会長 五味達夫さん 副会長 大井真二さん 副会長 武田良博さん



五味会長



大井副会長



武田副会長

世代を超えて愛される 活気あふれるまちづくり

華やかな街として知られる銀座の一角に銀座一丁目東町会があります。「かつては木挽町と呼ばれ、八百屋、酒屋など、庶民的な商店が立ち並ぶ街でした」と教えてくれたのが、銀座一丁目東町会の五味会長。銀座エリアで最も住民の多いこの地域では、時代の流れとともにマンションやオフィスビルが建ち並び、街の風景も大きく変わってきました。そのため、町会では地域のつながりを大切に、活気あふれる街を守り続けようと、さまざまな活動に取り組んでいます。中でも、もちつき大会と鐵砲洲稲荷神社の例大祭、銀座・新富納涼盆踊り大会は、世代を超えて楽しめる人気の催しとして、地域に欠かせないものとなっています。

約500人もの人々が集まるもちつき大会は、1月に開催。鐵砲洲囃子の生演奏が響き渡る中、つきたてのお餅や特製の豚汁が振る舞われます。また、京橋消防署による地震車体験も実施され、実際の揺れを体感しながら地震への備えを学ぶことができます。住民の防災意識向上につながっています。「こうした楽しいイベントの中に防災訓練を取り入れることで、多くの方に参加してもらえま



銀座・新富納涼盆踊り大会

夏が訪れると、銀座・新富納涼盆踊り大会が開催されます。新富町会と協力して行われ、夏の夜を彩る一大イベントとして定着。企業も積極的に運営に参加し、地域全体で盛り上げており、約1000人以上が訪れます。「盆踊りですが『ダンシング・ヒーロー』が流れ、みなさんで踊るんで

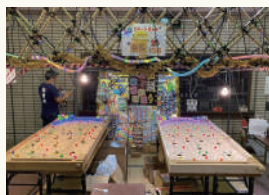
地域の力が集結 笑顔広がる夏祭り

す」と話す大井副会長。町会ならではの工夫が光ります。

5月には鐵砲洲稲荷神社の例大祭が催されます。3年に一度の本祭り以外は神輿を出さないのが通例ですが、銀座一丁目東町会は毎年、神輿を繰り出し、氏子町会の中でもその活気は群を抜いています。町神輿でありながら今年は約700人もの人が集まり、歌舞伎座の前を威勢よく練り歩きました。積極的に担ぎ手も受け入れることで、地域を越えた交流を生み出しています。青年会が作る御神酒所は一見の価値ある出来栄です。



御神酒所



スマートボール

す。楽しいでしょ？」と笑顔で語る武田副会長。このイベントのもうひとつの魅力が屋台です。青年会が手作りする1500個ものシウマイや、その場で絞る生グレイプフルーツチューハイは、毎年大好評。また、スーパースクールという手作りスマートボールといった子ども向けのゲームも充実。夏の思い出として、心に残るひとときを作るために半年前から準備しています。

他にも婦人部主催のバスハイク、防災訓練、町内夜警巡回など、年間を通じて地域コミュニティを支える行事や活動が行われており、SNSも活用して情報発信を行っています。こうした町会活動を支えているのが町会役員です



▲X(旧Twitter)

所属する町会・自治会を調べる

中央区には、一流ブランド店や老舗、食のまちがある「京橋地域」、金融街や老舗百貨店などが連なる歴史ある「日本橋地域」、超高層マンションが立ち並ぶ未来都市と下町情緒にあふれた路地が混在する「月島地域」の3つの地

域があります。そして、その中には142の町会と31の自治会が区域を分けて活動しています。お住まいのご住所が所属する町会・自治会が分からないときは、「町会・自治会MAP」で確認してみてください。



町会・自治会MAP▲

日本橋地域

京橋地域

月島地域

誇れる伝統と活気を子どもたちに託したい

東日本橋二丁目町会 会長 川口修一郎さんと青年会のみなさん

かわぐちしゅういちろう



川口会長



川口会長(前例中央)
青年会の皆さん(後列 左から浅野さん、打越さん、岡田さん、植野さん)

神田祭の御飯屋のまちであり 伝統文化の息づくまち

両国橋の西岸、隅田川を臨む江戸情緒を残す一角に東日本橋二丁目町会があります。古くは日本橋両国・両国広小路と呼ばれ、七味唐辛子や講談発祥の地としても有名で、花火大会でおなじみの「玉屋鍵屋」を屋号に持つ花火師もこの地で活躍しました。そんなまちの歴史を語ってくれたのは会長の川口さん。ご存じ神田祭では、神幸祭の行列が巡る折り返し地点(御飯屋)となっており、その日は大変な盛り上がりを見せ、昔からの文化が息づいていることを実感できます。こうした伝統行事を陰で支え、代々受け継いできたのが町会の方々。さらに、町内の薬研堀不動院での新年の振る舞い酒、2月の節分、年末は歳の市に参加するなど、今なお伝統行事に活気をもたらしています。

そんな豊かな伝統文化が息づくまちですが、時代とともにオフィスビルやマンションが



プールと滑り台

で、開催一日で500人増え、古き良きまち並みや伝統が衰退していく懸念も。「実家がアパレル店でしたが、子どもの頃はまちがとも賑わっていて、店の手伝いをワクワクしながらしていました。それが、しばらくここを離れて戻ってきたときにとっても閑散としていて、ショックを受けましたね」と青年会の岡田さんは語ります。

親子で楽しめるイベントで 地元を好きになってもらう

まちの活気を取り戻し、受け継いでいきたい。そんな想いが東日本橋二丁目町会の原動力。そのため注力しているのが、次代を担う子どもたちへのアプローチです。少子高齢化が進んでいる状況ですが、マンションが増えたこともあり、意外にも東日本橋周辺は子どもがたくさんいます。そこで、青年会の皆さんが子ども向けのイベントとして昨年から企画しているのが、「真夏の納涼大会東日本橋みずびたし」です。町内の二画に大きなプールや滑り台などを設置。誰でも自由に遊んで涼める場所として解放しました。婦人部の皆さんの協力のもと、かき氷やフランクフルト、ラムネやビールの露店も出店。想定を超える賑わいで、開催一日で500人



Instagram

ほどが訪れたといいます。

「本当はもっと水をたくさん用意して、バケツで水の掛け合いができるようなイベントにしたいですね。子どもにもっと羽目を外して遊んでもらいたい」と意欲を見せるのは青年会長の植野さん。東日本橋二丁目町会では、他にも子ども祭りやハロウィンなど楽しい催しが年間を通して目白押しです。



神田祭の宮入り

「まちには絆があり、まちを想う仲間がいるのが良いところ」と青年会の打越さん。他のまちに住んでも戻ってくる人も多いそうです。最後に川口会長が町会への想いを語ってくれました。「ここは本当にいいまちだと思います。そして、子どもにとってはここが生まれ故郷になるわけですから、親御さんと一緒にまちの良さに触れてほしいと思います。特に神田祭の宮入を経験すると、他では得られないような日本人としての一体感や素晴らしい感じが感じられると思います」。町会長の想いが多い子どもたちに届け、このまちの活気と文化が受け継がれていくことを願ってやみません。



真夏の納涼大会

インターネットでまちの情報を知る

中央区ホームページでは、町会・自治会の区域や主な活動等を紹介している他、このホームページ経由で、町会・自治会に関する情報を発信するためのSNS(中央区町会・自治会ネット)の情報も見ることができます。

また、独自でSNSを立ち上げ、まちのイベント情報を発信している町会・自治会もあります。ぜひ、SNSで町会名・自治会名を検索してみてください。



▲中央区ホームページ内
町会・自治会ページ



「楽しさ」を入り口に、町会の魅力を伝えたい

佃二丁目町会 会長 福山 照一さんと町会役員のみなさん

ふくやまてるかず



福山会長



福山会長（前列中央）
理事の皆さん（後列 左から 江崎さん、桜木さん、
山田しげ子さん、飯田さん、山田展子さん、伊東さん）

若者もシニアも楽しめる 新たな体験を提供したい

隅田川が東京湾に注ぐ三角州に位置する佃一丁目には、江戸の情緒を残す懐かしいまち並みと、建ち並ぶ高層マンションの現代的な景観が共存する街。佃一丁目町会の福山会長は「私たちの町会は、昔からここに住む約300世帯と、高層マンションの約1000世帯の住民で構成され、地域に根ざした活動を行っています」と話します。

佃二丁目町会が特に力を入れている行事の一つが、夏の「佃盆踊り大会」。昨年からは新しい試みとして佃二丁目、二丁目、三丁目町会、佃リバーシティ、コーシャタワー佃の各自治会の合同で開催されました。「となりの佃二丁目町会がしばらく盆踊り大会を開催していないと聞いて、それなら他の町会・自治会も誘って一緒にやってみようかと提案しました」と福山会長。合同開催も、使う会場もすべて初めてだったため、打合せを重ねて入念に準備。その成果もあり、当日は2日間で来場者に用意した3000本のうちわが足りなくなるほど大盛況

況に。町会・自治会同士つながりも生まれました。今年も合同開催で、1日目はダンスパフォーマンス、2日目は盆踊りを行いました。住民の中には佃二丁目町会単独で



佃盆踊り大会

の伝統的な盆踊り大会を望む声もありますが、福山会長は「町会の活性化には若い人の参加が不可欠」として、「シニア世代にもあえて新しい場所に足を運んでもらい、その良さを感じてほしいという思いがあります」と心境を語ります。

苦労も含めて面白い 町会行事の魅力

秋の「町会親睦バスハイク」も人気のイベント。町会役員の山田（しげ子）さんと飯田さんが中心となり、昨年は三浦半島へのみかん狩りバスツアーを実施しました。添乗員さんの急な変更や、みかんの不作といったトラブルもありましたが、皆さんは「それも含めて楽しかった」と口を揃えます。初めて参加した方からは、「こんなに楽しい行事だったとは」と驚きの声も上がるほど。

冬の一大イベントが「町会もちつき大会」。役員総出で準備にあたります。90kgものもち米をボイラーで蒸し、町会員に配る『のし餅』や大会用に半つきの餅を用意します。「つきあがったお餅は、お雑煮やあんころ餅、きなこ餅、からみ

餅にしてふるまいます。大変だけど皆さん喜んでくれるので」と話すのは役員の山田（展子）さんと伊東さん。飯田さんは「朝ごはん代わりのもち



もちつき大会



バケツリレー

米の塩むすびが楽しみ」と笑顔を見せ、役員の江崎さんもうなずきます。近くの佃リバーシティから訪れる外国人住民の姿も見られ、交流の輪も広がります。役員の桜木さんは、同じく冬の恒例行事として「文化財防火

デー」を挙げます。まちのシンボル・住吉神社で行われる防災訓練で、バケツリレーなどを通して町会のチームワークを高めています。行事について話す皆さんの笑顔が印象的な佃二丁目町会。「町会に入ってみると、楽しいことが多いんです。でも、どうしても『入りにくい』というイメージがあります。災害のときには必要だと感じても、普段は関心が薄い。だからこそ、『楽しさ』を入り口に町会の魅力をもっと伝えていきたいですね」と福山会長。今後はSNSも活用していくそう。佃二丁目町会は、伝統だけでなく変化も大切にしながら、歴史ある街の未来を見据えています。



新たに自治会が結成されました！

HARUMI FLAG自治会 会長 荒瀬 勇太さん

私たちの自治会は、東京2020オリンピック・パラリンピック開会式の3年後にあたる2024年7月23日に設立を宣言しました。選手村の跡地としてのレガシーを引き継ぎながら「新しい街、新しい伝統」を掲げて活動しています。今は4000世帯ぐらいですが、タワー棟への入居が始まると、近いうちに5000世帯、1万6,000人〜2万人ほどの規模のまちになります。7月の盆踊り大会では、自治会が初めて開催したイベントとして、皆で一つものを作っていけたらいいな…との思いで、お揃いの法被を作りました。周囲には歴史や伝統のある町がたくさんありますので、皆さんに追い付けるよう、新しい伝統を作っていきたいと思います。



荒瀬会長



▲ HARUMI FLAG自治会 HP